

あなたと
議会を
つなぐ情報誌

大 網 白 里 議 会 だ よ り

第175号

発 行 大 網 白 里 市 議 会
〒299-3292
大 網 白 里 市 大 網 115 番 地 2
電 話 0475 (70) 0390
発 行 人 大 網 白 里 市 議 会 議 長
田 辺 正 弘

秋深まる



小中池公園で柔らかな秋の日差しを受けて咲くコスモス
春夏秋冬、四季の変化を感じさせる小中池公園に、
皆さんもぜひ足を運んでみてください。

可決した予算・議案の一部をご紹介します！

GIGAスクール実現に向けて タブレット 児童生徒 1人1台配置

子どもたち一人ひとりの個性に合わせた教育環境の整備のため国が進めている「GIGAスクール構想」の実現に向けて、児童生徒に1人1台の端末を配置するとともに、小中学校内の通信ネットワークを整備するための補正予算が第2回臨時会で可決されました。

また、第3回定例会では、学習用端末購入契約にかかわる議案が可決されました。



▶ 予算概要

端末台数	3,870台
購入費	325,814千円
回線整備	96,096千円
通信費	4,307千円

▶ 契約概要

端末台数	3,870台
購入費	253,000千円 (授業支援ソフト、周辺機器、端末補償等を含む。)
納期	令和3年3月25日まで

令和2年第2回臨時会は、7月31日の1日限りの会期で開催されました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴う各種支援策や小中学校教育におけるGIGAスクールの推進に関連する補正予算案1件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり可決しました。
第3回定例会については、9月3日から9月30日までの28日間の会期で開催され、市長から提出された議案9件と、令和元年度各会計歳入歳出決算の認定1件に加えて、陳情2件の審査を行いました。議案については、すべて原案のとおり可決(同意)・認定とし、陳情2件のうち1件は不採択、1件を継続審査としました。詳細については、2ページ以降で紹介します。

令和2年 第2回臨時会と 第3回定例会が 開催されました

市議会HPのご案内

本市議会では、開かれた議会の取り組みとして、会議録、行政視察報告書、政務活動費の報告などをHPにて公開しております。

大網白里市HP内の市議会HPをご覧ください。また、QRコードからもアクセスできます。



主な内容

- 【常任委員会レポート】…………… 2
- 【決算特別委員会レポート】令和元年度各会計決算を認定！…… 3
- 【市政に対する一般質問】3会派8人 個人7人が登壇！… 4～8
- 採決結果一覧…………… 8



常任委員会審査レポート ～各委員会に付託された議案・陳情～

総務常任委員会

総務常任委員会は、9月15日に開催され、付託された議案2件と、陳情1件の審査を行いました。

議案2件については、いずれも賛成総員により原案のとおり可決としました。

陳情1件については、さらなる調査が必要と判断され、継続審査となりました。

●議案第1号 令和2年度大網白里市一般会計補正予算

Q & A こんな質疑がありました

問 小中学校の修学旅行についてキャンセル料に関する契約の規定はどのように

なっているか。

答 修学旅行は、受注型企画というものに該当し、企画料や手配手数料といったものを取り消し料として支払うことになっている。

問 大網病院経営支援金について、経営状況などはどうなっているか。

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月から6月で約9,000万円の減収となった。また7月から9月についても、約7,000万円の減収が見込まれることから、今回1億6,000万円を支援金として計上している。

問 地域コミュニティ施設等再建支援事業について、対象施設が12か所というところだが、この選定方法はどのようなものか。

答 施設を有する全ての自治体に照した結果、12か所の自治体から申請があったもの。

問 ふるさと応援寄附金促進費について、寄附金をアップさせる対策はあるか。

答 現在、コメに力を入れて取り組んでいるところで、今後は、季節限定のものを提供できないか検討していく。

●議案第9号 財産の取得について
※GIGAスクール関連記事(1面)を参照ください。

Q & A こんな質疑がありました

問 調達するパソコンは、Chromebookということだが、スペックなどはどのように決めたのか。また、これまでに導入しているソフトウェアとの互換性はどうか。

答 文部科学省のGIGAスクール構想を計上するもの。

Q & A こんな質疑がありました

問 コロナ禍で世界中の病院が経営困難となっている。職員の希望退職を募っている病院があるとも聞いている。大網病院としては、このような状況の中で、動いていることはあるのか。

答 職員の処遇ということについては、今回計上している慰労金交付事業があり、働く環境改善ということでは、国の補助金を使って感染対策になるような備品消耗品などを模索しながら購入を進めている。

●議案第6号 大網白里市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 職員の増員、給与費の補正の理由は、地域包括支援センターの職員について、要支援者の増加や計画の作成件数が増加していることから増員となった。

●議案第5号 令和2年度大網白里市病院事業会計補正予算

問 対象世帯、人数はどのくらいか。また、受給券はどのような形で配布するか。

実現パッケージにある標準仕様に基づいている。ソフトウェアの互換性については、ChromeOSに対応するものしか使えないが、クラウドで教材が使えると聞いている。

問 制限付き一般競争入札を行ったとのことだが、具体的にどのような制限をしたのか。

答 令和2・3年度大網白里市建設工事等入札参加者名簿の物品の区分に記載されている、千葉県または本市から指名停止を受けていない者を入札参加資格とした。

●議案第4号 大網白里市ガス事業会計補正予算について

Q & A こんな質疑がありました

問 ガバナリーの数と、今回解体する南横川ガバナリーのほかに不用品施設はあるのか。

答 市内には南横川ガバナリーを含めて20か所ある。南横川ガバナリーのほかに不用品施設はない。

問 施設が減ることによって、今後のガス供給に影響はないか。

答 数十年稼働していなかったガバナリーであり、今現在安定供給できていることから、今後も支障はない。

●議案第7号 市道の廃止及び認定について

問 個人所有地を市道として認定していることが判明したことから、これを廃止する。

議会運営委員会

9月15日に開催された議会運営委員会では、付託された陳情1件の審査を行いました。

審査の結果、賛成者がなく、不採択と決定しました。

●陳情第9号 議会運営委員会の会議録を公開してもらうための陳情

●こんな意見がありました

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は、9月16日に開催され、付託された議案2件の審査を行いました。

いずれも賛成総員により原案のとおり可決としました。

●議案第4号 大網白里市ガス事業会計補正予算について

Q & A こんな質疑がありました

問 認定後の市の管理内容と、その費用はどのくらいを見込んでいますか。

答 道路管理者としての占用許可などの道路法上の管理、補修などの維持管理がある。将来的には維持管理費用がかかるが、現段階では舗装したばかりなのでからない。

意見 個人所有地を市道として認定しているようなケースを市側で把握したときは、地権者に対して通達することも市役所の務めではないかと思う。

●議案第7号 市道の廃止及び認定について

問 個人所有地を市道として認定していることが判明した場合は、これを廃止する。

議会運営委員会

議員あるいは各会派の意見を調整するような場においては、さまざまな考えをもつ議員がいて、それらの意見を最終的に調整して集約する必要がある。そのためには、お互いが譲るべき部分は譲り、決着点を見いだす。それが議会運営委員会の場であるから、その協議の部分については、公開すべきではないと思う。

●会議の内容を公開すると、議

併せて、宅地開発事業の完了に伴い、市に帰属した道路用地としてについて認定するもの。

Q & A こんな質疑がありました

問 個人所有地を市道として認定していることが判明して廃止した場所は今までどのくらいあるか。

答 約10年前に同様のケースが1件あった。

問 認定後の市の管理内容と、その費用はどのくらいを見込んでいますか。

答 道路管理者としての占用許可などの道路法上の管理、補修などの維持管理がある。将来的には維持管理費用がかかるが、現段階では舗装したばかりなのでからない。

意見 個人所有地を市道として認定しているようなケースを市側で把握したときは、地権者に対して通達することも市役所の務めではないかと思う。

●議案第7号 市道の廃止及び認定について

委員長	石渡 登志男
副委員長	上代 和利
委員	林 正清子
委員	山下 豊昭
委員	小金井 勉

委員長	小金井 勉
副委員長	岡田 憲二
委員	上代 和利
委員	小倉 利昭
委員	北田 宏彦
委員	石渡 登志男
委員	秋葉 好美

文教福祉常任委員会

文教福祉常任委員会は、9月16日に開催され、付託された議案4件の審査を行いました。

いずれも賛成総員により原案のとおり可決としました。

●議案第2号 令和2年度大網白里市後期高齢者医療特別会計補正予算

概要 後期高齢者医療保険料について、キャッシュレス決済やコンビニ収納に対応するための経費として約830万円の増額補正を行うもの。

Q & A こんな質疑がありました

問 コンビニ収納の対象者と、1件当たりの手数料はいくらか。

答 年金からの特別徴収や口座振替されている方を除いて現金納付されている方が885名。1件当たりの手数料は56円となる。

問 後期高齢者がキャッシュレス決済

するのは難しいのではないか。スマートフォンを持っていない人には恩恵がないのではないか。

答 コロナ禍の下、キャッシュレス決済の導入を進めることにより、納付方法の選択肢を増やしたい。

●議案第3号 令和2年度大網白里市介護保険特別会計補正予算

概要 決算の確定に伴う精算等のため、約1億6千万円の増額を行うもの。

Q & A こんな質疑がありました

問 職員の増員、給与費の補正の理由は、地域包括支援センターの職員について、要支援者の増加や計画の作成件数が増加していることから増員となった。

●議案第5号 令和2年度大網白里市病院事業会計補正予算

概要 新型コロナウイルスの影響による医療従事者慰労金交付事業に伴う給付金

令和元年度一般会計など、すべての会計についての決算を認定 ～決算特別委員会審査レポート～



決算特別委員会は、9月17日、18日、23日の3日間開催され、令和元年度の一般会計決算などについて各担当課からの説明を聴取しながら審査を実施しました。
慎重な審査の結果、各会計歳入歳出決算はいずれも認定とすべきものと決定しました。
決算特別委員会における主な質疑をご紹介します。

問 選挙の啓発、特に18歳選挙権に関する啓発や、期日前投票を増やす考えについてはいかがか。

答 選挙の周知については、広報やホームページ、新聞折り込みも行っている。また、入場整理券の配布により選挙期日に関する周知はおおむねできているものと考えている。

問 しかしながら、現状として、若い世代の投票率は低いため、高校生などを対象とした主権者教育に力を入れていこうと考えている。

答 ほかの市町村を見ると、納税者の相談窓口は、プライバシーがしっかりと守られており、分割納付などの相談もしやすいことから徴収率が上がっている面があると思うが、当市はどうか。
答 税務課窓口には、パーティショ

問 デジタル博物館関係委託料に関連して、デジタル博物館のアクセス数は伸びているのか。また、イベントは年何回行っているのか。
答 アクセス数は若干減ってきている。イベントについては、補助金を活用して郷土芸能の演舞と音声を取り入れたもの追加しながら実施している。

問 大網病院に対する昨年の指摘事項について、どのように改善を図っているか。

答 医師の待遇の改善については、給与などの待遇面をアップさせることは難しい。しかしながら、医師の数を1名増やすだけでも医療従事者の待遇は改善されると思われるし、医師の増員こそ経営改善につながるのではないかと考えている。
東千葉メディカルセンターとの連携は以前から実施しており、役割分担が行われている。
一方で、地域のクリニックとの連携も非常に大切であり、コロナの影響もあるが、市内の医師会の役員と院長との直接協議の場を設けている。

問 学校が実施している心の教室相談事業について、相談内容はどのようなものがあるか。

答 学業・進路に対する相談が一番多く、家庭の問題、対人関係の順となっている。

令和元年度各会計決算収支の状況

一般会計・特別会計

(単位：千円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越	実質収支
一般会計	16,496,466	15,862,255	173,023	461,188
国民健康保険特別会計ほか7会計の合計	12,014,584	11,696,888	36,953	280,743
合計	28,511,050	27,557,143	209,976	741,931

企業会計

(単位：千円)

会計名	区分	予算現額	決算額
ガス事業会計	ガス事業収益	757,264	738,606
	ガス事業費用	746,706	711,820
	資本的収入	50,408	46,261
病院事業会計	資本的支出	184,007	118,165
	病院事業収入	2,624,985	2,639,386
	病院事業費用	2,650,514	2,605,346
	資本的収入	124,591	120,288
	資本的支出	188,288	178,384

※端数の切り上げ、切り下げを行っています。



問 観光関係について、魅力発信プロモーションとは、どのようなことを行っているのか。
答 観光キャンペーン業務としてベイFMのラジオCMを流したり、ノベルティグッズの作製などを行っている。

議会から各課への主な指摘事項



決算特別委員会で取りまとめた各課への主な指摘事項を抜粋して紹介します。

● 財政課

自主財源の確保に当たり、明確なビジョンを示し、財政の健全化に取り組みたい。

● 企画政策課

白里地区の公共交通について、利用者のニーズにあわせ、他の民間事業者との影響も考慮に入れた適切な手段を検討されたい。企業誘致に積極的に取り組まれたい。

● 総務課、選挙管理委員会

災害時における職員配置について、担当部署のみに業務が集中することのないよう、横の連携、応援体制を構築されたい。期日前投票所の増設等も含めた中で、投票率の向上に努められたい。

● 秘書広報課

市のホームページを通じた柔軟で迅速な広報活動の充実に努められたい。

● 安全対策課

防災意識の啓発と災害時の情報集約・発信に努められたい。
津波避難施設について、費用対効果を考慮して取り組まれたい。
駐輪場の料金体系の見直し等を検討されたい。

● 税務課

引き続き市税の収納率向上と滞納額の削減に努められたい。
納税者が相談しやすい環境整備に努められたい。

● 市民課

医療費抑制のため予防活動を推進されたい。

● 健康増進課

マイナンバーカードの取得率向上に努められたい。

● 高齢者支援課

各種健(検)診事業について、受診率向上、事後指導、効果等の検証に努められたい。
地域包括ケアシステム構築の核となる地域包括支援センターの強化、充実に努められたい。

● 社会福祉課

関係団体等を含め、元気のある高齢者が支える側になる仕組みを検討されたい。
生活困窮者及び生活保護受給者の就労支援について、さらなる充実に努められたい。

● 子育て支援課

保育所、子育て支援館等の適切な運営を図られたい。
民間保育士の労働環境について、配慮願いたい。

● 教育委員会管理課

情報通信技術を活用した教育環境の整備に努められたい。
子どものメンタルヘルス向上や教職員の負担軽減に努められたい。

● 教育委員会生涯学習課

市の文化財の情報発信及び保護に努められたい。
各種イベントの開催については、社会情勢等に応じた開催方法を検討するとともに適切に実施されたい。

● 国保大網病院

利用者のサービス向上とともに、経営の

健全化に努められたい。

● 下水道課

下水道事業の経営健全化に向けて努められたい。

● 都市整備課

住宅耐震改修促進事業には積極的に取り組まれたい。
大網駅沿道を含めたまちづくりに積極的に取り組まれたい。

● 建設課

災害時を見据えた道路及び河川の整備に努められたい。
引き続き生活道路の利便性向上と通学路の安全対策に努められたい。

● 商工観光課

関係団体との連携を密にし、産業・商工観光の推進に取り組まれたい。

● ガス事業課

ガス利用のPRに努めるとともに供給戸数の確保に取り組まれたい。

● 地域づくり課

市有バスの運用については、利活用推進に努められたい。
ゴミの減量化、資源再利用の促進について鋭意取り組まれたい。

● 農業振興課、農業委員会

各種団体と密接に連携し、地域に根ざした農業振興に努められたい。
有害鳥獣駆除については、引き続き推進されたい。

委員長	秋葉好美
副委員長	中野修
委員	土屋忠和
委員	上代利和
委員	森建二
委員	石渡登志男
委員	黒須俊隆

会派代表質問

市民の安心・安全のために
防災対策をいかにすべきか

自 民 小倉利昭 議員



第二回定例会の際に、昨年の一連の災害に対して災害対応に関わる検証報告が提出されました。私の質問は、この報告書に沿って質問致します。

問 昨年の災害の情報収集・伝達について、課題と対応は何か。

答 防災行政無線による放送内容が悪天候等により伝わりづらかったこと、長期停電に関する市民からの問合せが殺到し、職員が対応に追われたこと、市民からの通報内容や位置情報の確認に手間取り、迅速な処理対応ができなかったこと、庁内での情報収集と集約が滞ったことにより、災害対策本部からタイムリーな情報を市民、職員に提供できなかったことなどが挙げられる。対応策としては、災害発生時における職員初動マニュアルの修正、ツイッターなどの SNS による市民からの情報収集の強化、災害対策本部における問合せなどの一括処理体制の確立、自主防災組織等による情報サポーター制度の創設、市内河川の水位情報の確実な収集などです。次に、市民への情報伝達における対応策としては、気象状況等により、屋外の防災行政無線が聞き取れない場合に備え、戸別受信機の普及や電話対応サービスの周知を図る、メール配信サービスの登録を促進する、聴覚障害者へのフックスなどによる情報提供を検討する。市民との双方向の情報交換における対応策としては、自主防災組織や区自治会との連携を図るため、具体的な要領を検討する。庁内における情報共有における対応策としては、職員間における情報伝達経路の周知を徹底する、電子掲示板や職員配信メールの活用により、情報伝達

共有を図るなどです。

問 避難体制・避難場所の課題と対応は何か。

答 避難体制・避難場所運営における課題や要因としては、避難場所の開設運営マニュアルがないため、誘導や受入れに戸惑ったこと、避難場所の収容状況の情報提供がなく、避難者が避難場所を転々としたこと、要支援者、要介護者、乳幼児、障害者など要配慮者ごとの避難所が指定されていないこと、ペット同伴の受入れ避難場所が決められていなかったこと、避難場所での情報収集手段がなかったことなどが挙げられた。受入れ体制における対応策としては、避難場所開設運営マニュアルの作成、避難場所ごとの避難者収容数の上限設定、ペット受入れ避難場所の事前指定、避難場所の空き状況の周知などです。要配慮者の対応における対応策は、要配慮者ごとの避難場所の指定、支援が必要な要配慮者の事前把握、要配慮者の避難要領の検討などです。最後に、避難場所の運営における対応策としては、避難者一人当たりの占有面積の設定、避難者への食料・飲料水の配布基準の設定、市民に対するペット同伴時の心得の啓発、避難場所における戸別受信機の設置などです。

いかなる災害であっても、発生直後の情報伝達がいかに重要であるか、正しい情報を収集し、いかに早く情報伝達ができるか。それによって、次の行動は決まってくるわけで、この辺が一番重要であると思います。

関連質問



中野 修 議員

避難所の開設と運営について

問 新型コロナウイルス感染症防止のため、具体的にどのような対策を取り運営するのか。必要な資材の準備、避難所の確保が来ているのか、お伺いいたします。

答 感染リスクの低減を図るため、避難者同士との一定の距離を確保し、密集、密接を避ける必要があることから、通常の災害時よりも避難所の収容可能人数は大幅に限られます。市民の皆様にはできるだけ安全なご親戚やご友人のところ、ご自宅の2階などへの避難を検討していただき、本当に避難所を必要とする方々が利用できるよう、ご協力をお願いしている。新たな避難スペースを確保することも必要で、学校施設における体育館以外のスペースの活用について協議しているほか、指定避難場所以外の公共施設の活用や民間の宿泊施設の協力要請なども進めています。避難者の受け入れに当たり、密集、密接を防ぐため、スペースの確保、間仕切りを設置し、接触機会の低減を図るほか、手指の消毒、咳エチケットの徹底、十分な換気、共有物品等の定期的な消毒などを行うてまいります。消毒液や非接触型体温計、マスクなど必要な備品の確保、職員についても、マスク、ゴム手袋、フェイスシールド等を用意し、感染防止の徹底を図ってまいります。これらの備品などは、おおむね確保いたしました。また、間仕切りの新規購入分につきましては、現在納入待ちの状況で、事業者には、可能な限り早期の納入を要請してまいります。

その他、波乗り道路アンダーパス陸間及び囲み堤防について質問をいたしました。

関連質問



小金井勉 議員

災害対策について

問 昨年の大雨により、大小様々な土砂崩れが多数発生している。そのような箇所の検証はされているか、また、発災後の崩落箇所の復旧等、ハード面について、国・県の事業導入が困難である場合、所有者個人での対応も限界がある中で、市独自の支援策の検討などについて、どのように考えているかお伺いいたします。

答 昨年の台風15号、19号及び10月25日の大雨の影響により、市内では30箇所の土砂崩れが発生しました。このうち12箇所が土砂災害警戒区域内、18箇所が区域外でありましたが、18箇所のうち3箇所は、今年3月に新たに土砂災害警戒区域に指定されました。

問 昨年の台風災害において、住宅損壊などの被害を受けられた方への修繕等に係る経済支援として被災住宅修繕緊急支援制度による補助金の支給や、被災者生活再建支援制度による支援金の手続きなどの支援を、国や県等と連携して実施しています。

問 金谷川と小中川の改修工事の進捗状況をお伺いいたします。

答 千葉県では、昨年9月に南白亀川水系河川整備計画を策定し、今年度については、大網駅から主要地方道千葉大網線の道面橋下流までの区間の詳細設計を実施しているとのことです。準用河川金谷川の整備については、二級河川小中川合流点から上流の事業計画区間460メートルについて、平成25年度に下流から工事着手し、護岸工や橋梁の架け替え2橋を行い、これまでに132メートルが完成し、昨年度、旧国道の要害橋までの工事用仮設道路を従来の線形に戻す工事を実施したところで

個人質問

災害時も同様、普段から市民の事を
市はもっと考えるべきなのだ!



石渡 登志男 議員

後も周知を図ってまいります。

問 昨年発生した災害対応に係る市の検証報告書だが、何度も読んだ。ただ、一番大事な点が抜け落ちていく。例えばこうだ。「聴覚障がい者への情報提供が考慮されていなかった。今後の対応として聴覚障がい者にフックス等による情報提供を行う。」また「避難所運営では避難開設場所に避難者が集中し、配置職員が少なく円滑な対応ができなかった。さらに、避難場所運営マニュアルがない為、誘導や受入れの手順に戸惑った」と記載がある。このような事は災害が発生しなければならなかったことか。もしそうならば、これは大変深刻な問題だ。さらに、検証にあった断水問題も同様で、市民の方々が市役所に殺到しない限りわからないことだったのか。よく考えていけば、わかるような事が災害後でないとならなかったというのは、何かおかしい。わからなかった、あるいは事前に把握できなかった、もし言うならば、組織自体に何か問題がある。そういう一番大事な点がこの検証から抜け落ちているのではないのか。成長している自治体は物事に積極的だ。「余計なことはするな。出る杭は打たれる。」ではなく、むしろ逆だ。市民のためにもっと積極的な行動や考え方ができる、またそれを尊重できる市の状況やそんな職員の育成を図らない限り、巨大な自然災害には手に負えなくなる。災害後の避難所において、災害で助かって避難所で亡くなる、こんなおかしな事はしてはいけない。

問 公の避難所は、現在何か所あるのか。また市民にその避難所周知をもっと徹底すべきではないのか。

答 現在16か所を指定しており、今

問 新型コロナウイルスやインフルエンザウイルス等の感染症による避難所の密を防ぐため、政府も多くの避難所開設場所を求めている。また、平成30年の9月議会では私は高さのある間仕切りを導入すべきだ!と強く訴えていたはず。それについてはどうなのか。

答 指定避難場所以外の公共施設の活用検討や民間の宿泊施設の協力要請なども進めております。また、高さが1.8mの間仕切り170セットを新規に発注し、納入待ちの状況です。

問 戸別受信機だが、現在の市民の負担金、また高齢者や障がい者の方々には、年金収入等を判断した上で、希望者には無償貸与、あるいは半額程度でもよいのではないのか。

答 戸別受信機は負担金1万円の有償貸与をしております。今後、対象者や減免額などについて検討してまいります。

大変よい回答だ。国民年金で生活している高齢者にはその1万円というのは非常に大きな負担。ちなみに無償貸与している自治体だが、山口市、九十九里町、旭市等があり、横芝光町は5千円。市の災害検証報告書に「戸別受信機が普及されていないため、市民に情報が伝わりにくい」とあったが、普及されない条件をつけたのはまさに市ではないか。違つか。市民の命に関わることはしっかりと行っていく。ぜひともきちんとして対応をお願いしたい。

*それ以外に、停電・断水対策についての質問とその具体的な対策案の提示や区や自治会における井戸の設置等。また、河川洪水においての全力対応を市にお願いした。

会派代表質問

「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」の取組について

創 政

北田 宏彦 議員



問 政府は令和5年度までに達成するとしていた児童・生徒1人1台端末の整備、校内ネットワーク環境の整備を前倒した。本市では、約2億9千万円をGIGAスクール構想に充当し、1人1台の端末などを導入する予定である。しかし、令和2年度補正予算2,292億円の目的は「家庭でもつながる通信環境の整備などを加速させ、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により、全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急に実現」にある。

家庭でのオンライン学習の整備をどう進めていくのか伺いたい。

答 ネット環境の状況や使用可能な端末台数など詳細な調査を実施していくが、現時点ではネット環境が未整備の家庭については、各学校に登校の上、端末を利用して対応したい。

問 指導体制について伺いたい。

答 文部科学省は教員の研修段階においても手引きや動画コンテンツ等を活用した指導力向上を図ることに加え、指導体制を充実させるためにICT指導員の配置の促進やICT活用教育アドバイザー、通信環境や情報管理に詳しい専門人材の活用を求めている。本市の指導体制及び指導力向上をどう図るか伺いたい。

答 外部講師によるICT活用研修、ICT推進リーダーを育成するための研修、さらに端末の有効活用や課題解決のための情報交換を定期的に実施し、サポートデスクも用意していく。

GIGAスクール構想が前倒しとなり、教育現場の教職員には大変ご苦労をおかけするが、ご理解の上、ご尽力いただきたい。

問 笹塚地区の農業用水路の維持管理について伺いたい。

答 昨年、事業者が、進入路を確保するため、法定外公共物工事申請を行ったところ、本市は農業用水路を埋め立てる指導をした。農業用水路は分断され、道路排水としての機能も失われた。水田の耕作者は引水できずに、また近隣の皆さんは道路冠水、家屋浸水の不安を抱いている。

千葉県の管理下では、用水路の機能を確実に維持していた。なぜ、水路機能を維持を指導せずに、埋め立て舗装を許可したのか伺いたい。

答 現況の水路が農業用水として機能していなかったため、整備する必要性がないものと判断した。

問 公共用水路は根拠なしに廃止、埋め立てすることは禁止行為ではないか。また、他の事業地では、U字溝設置を指導している。なぜ指導が違うのか伺いたい。

答 当該水路の下流部の水路形態が残っていたので、道路排水施設の整備をお願いした。

問 前述の隣接地にも水路が残っている。指導の基準を明確に定めていないから、場当たり的な指導をしている。近隣市町では「法定外公共物管理条例」で、禁止事項を定めている。「何人も法定外公共物において、次に掲げる行為をしてはならない。①土石等を堆積し、または投棄すること②法定外公共物を損傷する行為③法定外公共物の機能、構造等に支障を及ぼす行為」今回の埋め立て行為は「何人も行ってはならない禁止行為」であり、近隣の市町では公共用水路を同様に埋め立て指導することとはあり得ない。本市の占用等に関する条例は、適正に維持管理してい

くための事項が欠落している。不備のある条例を見直し、適正に維持管理を行っていただくための管理条例をつくり、統一的に適正な行政指導すべきと考えるが、いかがか。

答 早期に条例改正など必要な対応を図りたい。

問 笹塚地区は、農地の6割が宅地化されている。農業用水路を道路排水用地に用途変更し、併せて道路排水計画を策定してはどうか。

また、埋め立てた水路は、どう機能維持していくのか。

答 排水整備に係る方針を作成し、一貫した協議を行いたい。

なお、水路機能を維持するための管渠施設を実施する。

水路の適正な維持管理と住民の利便性向上に努めていただきたい。

問 大網駅周辺の浸水対策について

・小中川上流部整備計画の進捗状況
・金谷川整備工事の進捗状況
・ながた野周辺の浸水対策について
・赤目川整備工事の進捗状況
洪水ハザードマップの策定基準、見直しの進捗状況について

関連質問

森 建二 議員

○教育・子育て行政について

問 GIGAスクール推進。PCを小中学校に3,870台導入。国の地方創生予算からの大変有難い話ですが、設置しただけでは宝の持ち腐れ。今後の利活用について伺います。

答 端末及び校内ネットワーク環境の整備を進めています。教職員に対する研修、また、体制づくりというものは重要な課題ですので、他市町村の先進的な事例を調査・研究し、利活用について検討してまいります。

問 小・中学校の修学旅行について。私は旅行会社に長く居ましたので学

習効果の高さは実感する所です。他市では「全市で中止」というところもある様ですが、本市の状況は。

答 市教育委員会が一律に実施や中止を決定するものではないと考えますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止という大きな課題があり、各学校の意向を尊重しながら、相談や助言を行い、各学校においては保護者の意見なども踏まえながら、実施の可否を判断しているところで、現状は3中学校が中止を決定、7小学校が検討中です。

○防災対策について

問 Wi-Fi環境の整備について

昨秋の台風災害時、SNS等での情報の重要性を改めて強く認識しました。観光誘致の意味合いからも、市役所、避難所等々のWi-Fiの整備が必要ではないか。

答 市民サービスの向上や外国人観光客の増加、災害発生時における詳細状況の把握や情報発信などの効果が期待されます。また、インターネット回線と通信機器をつなぐ公衆無線LANの整備は有効な手段であると認識しています。公衆無線LANの整備につきましては、昨年度はWi-Fi機能つき自動販売機を大網白里アリーナ、浄化センター、農村ふれあいセンター、運動広場及び市営野球場の5カ所に各1台を設置しました。本庁舎及び中央公民館につきましては、自動販売機の飲料購入の一部を事業者から徴収しているため、設置を見送ることとなりましたが、今後は関係課と協議して参りますと共に、市が費用を負担する公衆無線LANの整備につきましても、引き続き利用目的や必要経費、庁舎の改修時期なども含めまして、関係各課と検討して参ります。

※その他、子育て交流センターについて、市役所内での新型コロナ対策について、防災井戸について、商工観光行政について問い質しました。

個人質問

区画整理団内の土地は、法律に基づき公平な課税を

黒須 俊隆 議員



課税については、税の公平性の観点から、特定の地権者が優遇されてはいけません。また、強制的に税を徴収するのだから、法律に基づいて適正な課税がなされなければなりません。課税の法的根拠や解釈が曖昧であつてもいけません。

問 区画整理団内で農地並みの課税をしている土地の面積をお答え下さい。

答 土地区画整理事業の施行前から農地として使用しており、事業完了後も引き続き農地として使用している土地については、一般の市街化区域農地として固定資産税を課税しています。今年度のこれらの土地の面積は、ながた野が0.71ヘクタール、みどり丘が0.62ヘクタール、合計が1.33ヘクタールです。

問 課税の根拠をお答え下さい。

答 地方税法第388条第1項の規定に基づき定められた固定資産評価基準によつて、土地の利用状況に応じて課税しています。

問 区画整理を行った団地は、土地区画整理法に基づき宅地として開発されたものです。農地課税はおかしいと考えますが、これらの土地の課税を変更する方針はありますか。

答 3年に一度の固定資産の評価替えを行う来年度から、宅地並み課税を実施すべく作業を進めています。

問 これらの土地を宅地並み課税にした場合、いくら税収が増えますか。

答 今年度区画整理内で農地課税をしている土地、2.94ヘクタールを宅地並み課税にした場合の固定資産税を試算しますと、年間でおよそ500万円の税収増となります。

ら宅地並み課税にしていた場合の累積の差額は幾らになりますか。

答 農地課税をしていた土地を各区分整理事業の換地後から今年度まで宅地として課税した場合の差額を試算しますと、合計でおよそ3億円になります。

問 私は5年前から団地内農地課税はおかしいのではないかと申し上げてきたのに対して、市当局は、適法にやっているとのお答えでした。課税根拠あるいは解釈が変わったのでしょうか。

答 近年、区画整理地内は住宅等の建設に伴い宅地化が進行し、農地は年々減少していることから、宅地との均衡を図る必要性が高まってきたと考えられます。そのため区画整理地内の農地の課税地目を、土地の利用状況に重点を置いた市街化区域農地から土地の潜在的価値に着目して課税する宅地等在農地に見直し、大網白里市固定資産土地評価事務取扱要領に定め宅地並みで課税します。宅地等在農地での課税は、今まで本市、山武地区もそうなんです。行っておりませんでした。来年度から課税の見直しをするにあたって、この課税種目では課税を行うものです。固定資産税の課税にあつては、多くの市町村が評価基準をもとに、その運用の方法の詳細などを評価事務取扱要領等に定めていることから、その裁量の中で見直しをするものと考えています。

問 平成29年に評価要領を定めているのになぜ来年からの変更なのでしょうか。

答 通常、固定資産の評価替えが3年に一度であることから、評価要領の見直しも3年に一度行います。

会派代表質問

防災・減災対策で
安心・安全なまちづくりを目指して



秋葉 好美 議員

問 近年の自然災害は、年々悪化しています。令和元年の台風15号、19号、10月の豪雨と続きました。令和2年に入り、7月の豪雨も甚大な被害でありました。そこで、本市において、昨年の被害の検証後の対策を進めるに当たっての課題をお聞かせください。

答 現在、検証結果をもとに必要な対策に取り組んでいるところであり、ハード面の対策については、多額の事業費を必要とするため、財源の確保が最も重要な課題であります。ソフト面の対策については、事業費はそれほど必要とはしませんが、関係機関や団体との協議、調整が大きな課題です。

問 次に、金谷川、小中川の進捗状況を伺うところでしたが、午前中同僚議員から同じ質問をされていますので割愛させていただきます。ただ1点、準用河川金谷川の改修工事が大変長引いているわけですが、この件について、金坂市長の見解をお聞かせ下さい。

答 金谷川改修事業は、防災対策だけでなく金谷川に並行した道路の整備により、駅周辺の交通の円滑化にも寄与する大変重要な事業であり、市としても優先的に取り組んでいます。

問 次に、水防活動について伺います。水防活動とは、現実的に災害が生じた生じようとしていいるときに、人命や財産を災害から守り、被害を最小限度にとどめるとあります。本市の水防活動はどのようになっているのか伺います。

答 本市においては、大雨などが予想される場合には、河川管理担当課の職員が中心となり、巡視や警戒を

実施しています。また、市消防団が水防団としての役割を担って、地域における水害防止に向け、巡視や警戒また、浸水地域での排水作業など実施しています。

問 次に小中川、南白亀川の水位計について伺います。千葉県のポータルサイトで、平時でも見られるようになっていきます。この情報をいち早く活用できないものかとの要望がありますが、如何かお聞かせ下さい。

答 千葉県の気象に係る緊急情報などの防災情報などを網羅した千葉県防災ポータルサイトでは、南白亀川、小中川を含む県の管理する河川に設置されている水位計により、河川の氾濫危険水位などの警戒基準を確認することができ、避難情報を発令する一つの判断材料としています。

問 次に、土砂災害について伺います。土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域があります。本市では、両方合わせますと90ヶ所あるとのことですが、そこを伺います。本番の土砂災害避難訓練での参加状況はどうだったのか。また、今後、局地的な豪雨により地盤が緩み、土砂災害に

対しての課題も含めお聞かせ下さい。大網地区、山辺1区の土砂災害区域にお住いの住民56世帯、19名の参加がありました。今回の訓練の目的である土砂災害時の避難のタイミング、避難経路、避難先等を周知していくことが課題であると思われ

ます。

その他、防災出前講座の充実と工夫防災用品について伺いました。

関連質問



引間真理子議員

問 防災ラジオについて、災害時の情報取得方法が多かったのがNHK全国ニュース番組でした。東日本大震災では地震で停電、最後まで入る情報はテレビではなくラジオでした。情報を確実に伝達する手段として防災行政無線も受信する防災ラジオの普及が加速しております。AMラジオを聞いていても割り込み放送が行われる仕組みになっており、スマホなどを持たない障害者や自宅が長い時間過ごすことが多い高齢者を念頭に防災ラジオはとも有効です。本市の導入について、課題であった情報伝達、地域との連携について対応策をお聞かせください。

答 防災ラジオにつきましては現在の戸別受信機よりも安価であるといつたメリットもある一方で市の防災行政無線システムで対応可能か導入済みの自治体に情報収集、研究してまいりたい。情報伝達は区・自治会や自主防災組織との連携要領の構築やツイッターなどSNSの活用などを進めていく。

問 避難所開設キットについて、コロナ感染により避難場所の数が減るという状況が想定されます。熊本地震で開設の初動が混乱し、その教訓を生かし避難所開設キットを作成しました。開設から受入れ運営と必要な小道具類が全てそろっており誰でも分かるようになっております。本市でも導入し地域の防災訓練等で活用してはどうかでしょうか。

答 避難所開設キットは各地区の集会所などを避難場所として使用する際にも有効であると考え周知を図ってまいりたいと考えております。

その他、防災出前講座の充実と工夫防災用品について伺いました。

関連質問



上代和利議員

問 感染症対策を想定した避難所運営のありかたについて

答 コロナ禍において、災害時の避難所など不特定多数の方の集まる環境下では、感染リスクが高まります。市としては、市民の皆様へ避難所への避難だけでなく、可能な限り、親戚や友人宅など安全な場所への避難の検討を呼びかけています。十分な換気の実施、三密を避けるためのスペース確保、発熱、咳などの症状がある方の専用スペース確保として、学校施設においては、体育館以外の特別教室などを避難スペースとして利用するとともに、非接触型体温計、間仕切りなどの備品類などを用意し対応する。

問 福祉避難所の運営状況および今後の対応について

答 中央公民館、大網白里アリーナなど優先的に開設する避難所に併設することとしている。県立大網白里特別支援学校や高齢者介護施設等と福祉避難所の協定を締結し、避難される要配慮者の様態等により、必要に応じて避難者の受け入れを要請することとしている。

問 マイタイムラインを活用しての防災計画策定について

答 自助としてのマイタイムラインの作成を通し、各個人の防災意識の向上を図るとともに、各地域における共助としての地区防災計画の策定にもつながり、相乗効果が期待されることから、マイタイムラインの作成を推進していく。

問 スマホでみられるハザードマップの導入について

答 市の津波、洪水ハザードマップは、市ホームページに掲載し、パソコンやスマホなどでみられる。

個人質問

小中池公園再整備

岡田 憲二 議員



現小中池公園は平成8年の開園から20年以上経過し各施設の老朽化や施設の更新等の課題が生じている。その為平成30年7月に「小中池公園再整備構想検討委員会」を設置し検討してきた。私も13名の委員の一人としてさまざまな提案をしてきた。

問 小中池公園の今迄の来遊客数は。

答 平成26年は年間約4万7700人、27年は5万7千人、28年は9万5千人。

問 ただ今「小中池公園」ではトイレ改修に着手している。改修内容は。

答 トイレ間仕切壁の改修、屋根のふき替え、外壁の塗装、床のタイル張り、和式トイレの洋式化、小便器手洗いの水洗の自動化、ユニバーサルデザインに配慮した多目的トイレの改修、照明器具のLED化など。

問 私は公園再整備は10年スパンで行うべきと提案している。理由は本市は極めて深刻な財政難であるからである。1年ずつ行程表を作成し、今年はこのままで、来年はこまめで今年計画を立て実践すれば10年間で無理をせずに立派な公園が完成する。この年次行程表は作成できるか。

答 公園再整備に必要な概算事業費を算出する中で国・県の補助金等財政確保の見通しを踏まえて検討する。再整備完成予想図を早く作成してもらいたい。

問 公園の再整備基本計画を策定する際にも必要となるので、今後検討しながら策定する。

を支援していつてもらえるような地域に作り上げていくというのにはすばらしい計画だと思う。そうしたことが実現できるようにぜひ力を貸していただければというふうに思う。

小中池公園と昭和の森公園を連結連携できるように千葉市と早急に協議をお願いしたい。また、小中池公園駐車場より池に上る坂道が急勾配な為、坂道に手すりを設置してもらいたいとの要望がたくさん寄せられているのでこの点も早急に対応してもらいたい。昨年小中池公園を調査した折に、桜の木が元気がないのに気づいた。見ると木にコケ等が一面に付着していた。加えて枝も花が咲かない立ち枯れになっているものが多数あった。後日公園担当の都市整備課の職員に桜の木の状態を話し、一本二本でも良いからコケをはぎ取り、枯れ枝を切り落としたりどうかと話したところ後日、桜の木全部を調べて、コケをはぎ、枯れ枝等の除去は全て終わりましたとの報告があった。地元小中の皆様のご協力があつたのはもちろんであるが、約百本ある桜の木を整備するのは大変なことである。

本市にはこのような優秀な若い職員がいっぱいいる。そういう優秀な職員を自由闊達に自分の力を最大限発揮できるように体制づくりをやらなければならぬと思っていた矢先、市長は3月定例会の冒頭に「一般職の給与を削減する」ことを公表しました。優秀な能力があり、また努力を惜しまないような職員は本市が最も必要としている財産である。その財産たる職員の給与削減は、市長、考え直すか、何らかの配慮をお願いいたします。

個人質問

①ジャンボタニシ対策②コロナ拡大
防止対策③コロナ禍の生活弱者対策

蛭田 公二郎 議員



問 ①ジャンボタニシ被害対策
被害実態、被害の防止対策など
についてお答えを頂きたい。

答 各農家組合へ被害状況調査では、
令和2年度は約16.8haの被害報告
がありました。国・県の補助事業や
効果的な防除方法等の情報を収集し、
農業者へ周知してまいります。

問 ②新型コロナウィルス感染症対策
本市における基幹産業である
稲作農家を支援するための有効な手
立てをお願いしたい。

答 各種支援情報等を一覧にまとめ、
広報9月号への折り込みと合わせ、
各公共施設において配布したところ
でございます。

問 ③新型コロナウィルス感染症対策
「保護変更通知」は、どうい
う内容で通知されるか。

答 保護者の就労収入や生活扶助
住宅扶助など、扶助費の変更が生じ
たと認められる場合、書面で通知を
行っております。

問 「変更通知」の「変更の理由」欄
には、項目の羅列だけで積算基礎が
書いていない。「これではどうい
う理由で変更の金額になったのかわか
らない」という声が寄せられている。
「変更通知」の内容をもう少し丁寧
に書いて頂きたい。

答 保護の相談窓口である社会福祉
課の窓口に常置しております。
生活保護法の附帯決議で言ってい
る「常時配備」するというのは、申
請権を保障するために、「申請書」
や「しおり」常時市民の目の届くこ
ろに置いておくということ。本庁
や出張所などにも置くよう検討され
たい。

問 ④コロナ禍の災害時避難所対策
避難時におけるトイレの問題に
ついて対応されているか。

答 避難所に設置する仮設簡易トイ
レにつきましては、現在、市で備蓄
しているものは全て洋式タイプで整
えています。

問 感染者は 今日現在、山武地域管
内で39名。陽性率は、千葉県が警報
目安と言っている35%とほぼ同程と
推定される。引き続き警戒を。

問 PCR検査センターについて、
改めて市長から説明されたい。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる
豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 新型コロナウイルス感染症の対
応に関する住民への注意喚起の在り
方、感染情報の在り方、今後の市と
しての感染症対策について伺いま
す。もっと詳しい情報を知りたいと
いう住民からの声が聴かれます。今
後の感染症の予防と注意喚起の在り
方について伺います。

答 市では、新型コロナウイルス感
染症予防対策として正しい情報の提
供や注意喚起について、予防手段や
新しい生活様式の実践について、市
広報紙やホームページ、防災行政無
線放送により実施してきました。今
後も簡潔でわかりやすく提供できる
よう努めます。また、新型コロナウ
イルスの感染者情報の公表は、都道
府県や特別区、政令市など、保健所
を有する地方自治体が行いますので、
本市において感染者が確認された場
合には、千葉県が公表することにな
ります。プライバシーの保護や風評
被害に留意しながら、感染者に関す
る情報を公表しており、感染者の居
住地域や行動履歴については公表さ
れておりません。

問 大綱小学校遠距離通学児送迎バ
スの受益者負担について

答 スクールバスは、現在利用してい
る保護者の方から運営されている
旨を伺いました。

問 ①市独自に、路線バスとの提携など
も踏まえ、市の運営とすることを検
討して頂きたいです。

答 大綱小学校遠距離通学児童送迎
バスは、昭和45年に旧山辺小学校と
大綱小学校の統合に伴い、町直営で
運行が開始されましたが、昭和59年
に町直営の運行は廃止されることに
なりました。しかし、地域の方々の
要望で保護者が自主的に運行を継続
することになりました。大綱小学校
と同様の状況の学校があることを考
慮すると、この地区のみ利用者負担
のないスクールバスを運行すること
は難しいと考えます。尚、現在の運
用では、利用者数が減少すると利用
者負担が増加する仕組みとなってい
ますので、利用者数に関係なく利用
者負担が一定となるよう、市補助金
のあり方の見直しを考えています。

問 防災行政無線について

答 ①市原市が防災ラジオの導入につ
いて、独自に防災行政無線を補充す
るものとして導入を開始しました。大
綱白里市でも、防災ラジオの導入に
ついて検討して頂けるか伺います。

問 ②有事の際の防災行政無線の在り方
の見直しなどあったのか伺います。

答 防災ラジオは、通常のラジオ放
送以外に自治体の発信する防災行政
無線を受信でき、現在市が貸与して
いる戸別受信機より安価というメ
リットがあります。現在の市の防
災行政無線システムで対応可能かど
うか、また、戸別受信機の300台
の在庫をどうするかの課題がありま
す。今後、導入済の自治体に関する
情報収集などを行い研究する考えで
す。放送内容が聞き取れないなどの
課題としては、戸別受信機の普及の
他、放送内容を電話で聞くことがで
きる電話対応サービスの周知、メー
ル配信サービスの登録の促進を務め
ます。

※他に、◆市長の声によるメッセー
ジを防災行政無線で流し注意喚起す
る提案◆駅付近に情報掲示板を設置
する提案をしました。

個人質問

財政再建！

宮間 文夫 議員



問 ふるさと納税、企業型について
市内における様々な魅力や価値
を高めるとともに、これを市内外に
伝えることにより、大綱白里ブラン
ドの向上に取り組み、定住人口や交
流人口を増やすなど、大綱白里市へ
のさらなる人の流れへとつなげてま
いりたいと考えております。

問 沖における風力発電について

答 本市を含む九十九里海岸7市町
村では、九十九里沖での洋上風力発
電の実現に向け、九十九里町が主体
となり、千葉県と協議、調整を進め
ているところでございます。洋上風
力発電設備の整備によりまして、新
たな雇用の場の創出や税収の増加な
どが期待されますが、利害関係者
のご理解や船舶航路との調整、自然環
境や景観に与える影響などの課題も
ございますことから、引き続き千葉
県をはじめ九十九里沿岸の市町村と
緊密に連携を図ってまいります。



問 白里海岸の養浜事業について

答 海岸に人工的に砂を入れて砂浜



個人質問

市財政事情令和2年度予算について
予算編成の基本的考えについて

山下 豊昭 議員



問 本市の財政状況は前年に引き続き大変厳しい認識の中で伺います。執行部説明では、予算編成時に新規事業の抑制、経費削減検証を行い、既存事業の休廃止縮小を行った様子が確認の為伺います。どの様な事業を休廃止されたのかお示し下さい。

答 令和元年度にて土地取得事業、公共下水道事業、農業集落排水事業の3事業特別会計を廃止しました。

問 3事業廃止に伴い令和2年度以後、実質的予算削減に係る影響は、どの様に推移するお示し下さい。

答 予算への影響として土地取得事業は廃止に伴う清算金を一般会計に繰り入れ財政調整基金に積み立て、公共下水道事業、農業集落排水事業は地方公営企業法を適用、下水道事業会計へ移行の為、前年度比較で直ちに、予算削減は発生せず地方公営企業法適用で経営効率化が期待出来る所です。更に予算説明時は今後丁寧な説明を心がけて参ります。

問 有難うございます。一定の理解を致します。次に防災対策費用について伺います。昨年9、10月に強力な台風、大雨浸水被害に多くの当市市民の皆様が被災された事は忘れられません。そこで本年度防災対策費は重点的予算配分を行ったとあるが、一番目に現時点に於ける予防対策費用の推移について伺います。二番目に市民への情報提供、職員の防災意識、初動対応強化についての様なスキルアップを行ったか伺います。

答 安全対策課として使用済毛布のクリーニング業務、津波避難施設整備、食糧飲料水等の災害備品等の購入です。二番目職員のスキルアップは水防、災害初動対応訓練を実施し職員への意識啓発を行った所です。

問 理解致しました。本年度に向けた十分な対応の程、お願い致します。災害後の支援も大変重要な支援ですが防災上に於いて最も大切な事は災害を未然に、住民への被害を防ぐ事を最優先に考える予防対策に考え方をシフトする事と考えます。教訓に学び先を見据える行政であって頂きたいと考えています。最後の質問に移ります。自主財源と依存財源についてです。資料の中で現年度市町村民税、個人24億7923万、法人税1億1586万、構成比率は個人税49.8%、法人税2.3%です。この事からも本市の税財源は市民の納入税に支えられていると認識出来ます。一番目に県道二二八号沿いに大型店舗が開店予定ですが次年度法人税の推移はどの様になるのか、二番目に今後の企業法人誘致の必要性及び認識についてお示し下さい。

答 新規事業者資本金188億円であり法人市民税均等割法で店舗事業者50人以下で41万、50人以上300万となり、現在確実な数字は41万であり今後の市民税中の法人市民税の構成比は4.43%で0.01%増です。新たな企業誘致について優遇措置制度の拡充・地区運用基準を策定して新たな企業誘致に向け検討を行い、本市経済活性化に繋げて参ります。

有難うございます。本市財政調整基金を必死で守り本来の行政運営を自主財源ベースに戻すべく積極策を実行する行政であって頂きたく期待を致します。又、ふるさと納税拡充空き家対策、移住計画の推進、地方交付税配布に関わる国勢調査もしっかり対応頂きたい。結びに行政と議会が共に切磋琢磨し知恵を出し共に進む事を表明し質問を終ります。

令和2年市議会第2回臨時会・第3回定例会 採決結果一覧

出席議員の総員が賛成した議案等			出席議員の総員が賛成した議案等		
議案番号	件名	結果	議案番号	件名	結果
第2回臨時会			4	令和2年度大網白里市ガス事業会計補正予算(第1号)	可
1	令和2年度大網白里市一般会計補正予算(第3号)	可	5	令和2年度大網白里市病院事業会計補正予算(第1号)	可
第3回定例会			6	大網白里市ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可
1	令和2年度大網白里市一般会計補正予算(第4号)	可	7	市道の認定及び廃止について	可
2	令和2年度大網白里市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	8	大網白里市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同
3	令和2年度大網白里市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可	9	財産の取得について	可

※陳情第8号「議会運営委員会を見習って、入札監視委員会を設置してもらうための陳情」は継続審査となりました。

賛否が分かれた議案、発議案、陳情など

議案番号	件名	結果	土屋	引間	上代	中野	林	山下	森	小倉	蛭田	小金	北田	石渡	田辺	秋葉	堀本	宮間	黒須	岡田	賛成	
			忠和	真理子	和利	修	正清子	豊昭	建二	利昭	二郎	勉	宏彦	志男	正弘	好美	孝雄	文夫	俊隆	憲二		
認定第1号	令和元年度大網白里市各会計歳入歳出決算の認定について	認	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
陳情第9号	議会運営委員会の会議録を公開してもらうための陳情	不	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×		×	×	×	○	×	2	

※結果欄の意味は次のとおりです。
 「○」=賛成 「×」=反対 「欠」=欠席
 「可」=可決 「同」=同意 「否」=否決 「採」=採択 「不」=不採択
 「棄」=棄権 「承」=承認 「認」=認定
 ※議長(田辺正弘議員)は採決に加わりません。

議会日誌

- 令和2年 7月
 - 27日 議会運営委員会、全員協議会
 - 31日 市議会第2回臨時会
- 8月
 - 27日 議会運営委員会、全員協議会
- 9月
 - 3日 市議会第3回定例会 開会
 - 決算特別委員会
 - 8日 一般質問
 - 代表質問 3会派・8人
 - 個人質問 2人
 - 9日 議会運営委員会、全員協議会
 - 一般質問 個人質問 5人
 - 15日 議案質疑、委員会付託
 - 議会運営委員会
 - 総務常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 文教福祉常任委員会
 - 16日 産業建設常任委員会
 - 17日 決算特別委員会
 - 18日 決算特別委員会
 - 23日 決算特別委員会
 - 30日 市議会第3回定例会 閉会
 - 議会運営委員会、全員協議会
 - 10月
 - 6日 議会だより編集委員会

次回定例会
12月
12月3日(木)開会予定

次回の市議会第4回定例会は、12月3日(木)開会予定です。この定例会で審査する請願・陳情は、11月25日(水)の午後5時まで受け付けています。



編集後記

9月3日に開会した議会ですが、当日の3日と直後の4日、6日と相次いで市内在住者の新型コロナウイルス感染症が発表され、そんな中、議会は、様々な感染防止対策を施しながら審議を行いました。本会議場は、座席をアクリル板で仕切り、本会議以外の委員会は会場を保健文化センターホールに移して行われました。そうした状況下でしたが、昨年度の決算や提出議案、また市民からの陳情などがシッカリと審議され、一般質問では、かつて多く数の議員が質問をしました。今後、予想される感染防止対策のため、山武市町会の要請によって東千葉メディアセンターにPCR検査センターが開設となったことは大変な朗報です。引き続き感染防止対策にお互い努めてまいりましょう。

蛭田公二郎

市議会は、1年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。議会だよりでは、各定例会の審議内容や一般質問の内容等をお知らせしていますが、紙面の都合上、すべてを掲載できません。本会議の内容を詳しくご覧になりたい方は、市議会ホームページ、市役所本庁舎1階行政情報コーナーまたは図書室(保健文化センター2階・中部コミュニティセンター・白里公民館)で会議録をお読みください。

議会だより編集委員会
 委員長 石渡 登志男
 副委員長 中野 修
 委員 引間 真理子
 委員 蛭田 公二郎
 委員 北田 宏彦
 議会事務局 Tel (70)0390

この「議会だより」は、再生紙を使用しております。